

「くだもの情報」の発行による病害虫の適期防除指導

新潟県新潟地域振興局巻農業振興部（新潟県巻農業普及指導センター）

主査普及指導員 原 道雄

1. はじめに

当農業普及指導センター管内は新潟県新潟市西蒲区のエリアで、平成19年（2007年）4月の市町村合併で、5町村が統合され誕生した。

新潟県のほぼ中央に位置し（新潟市の南西にあり）、海・山・平野に抱かれた自然豊かな環境で、西には日本海を望む美しい海岸線と秀峰角田山・多宝山を有し、広大な新潟平野に美田が展開し、信濃川の流れである西川と中ノロ川が流れている。

基幹産業である農業は、おいしい米作りをはじめ、砂丘畑地でのスイカ、メロン、大根等の栽培、平地での野菜や果樹（かき、いちじく、ぶどう、なし、もも等）が栽培されている。

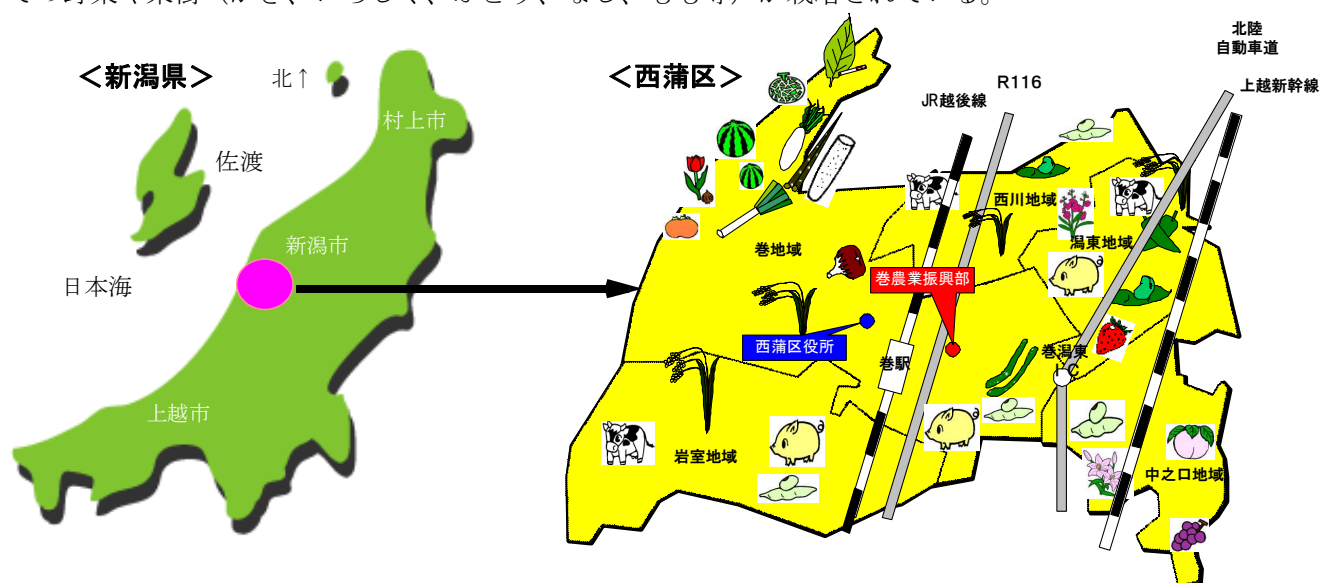


表1 新潟市及び西蒲区耕地面積

新潟市	・ 7 2 6 km ² （新潟市割合100%として）
うち西蒲区	・ 1 7 6 km ² （割合 24%）

※ 面積：新潟県統計年鑑及び国土地理院公表より

表2 管内果樹産地栽培面積

樹 種	栽培面積	樹 種	栽培面積
かき	1 2 6 . 4 ha	ぶどう	1 8 . 0 ha
いちじく	1 1 . 1 ha	日本なし	3 0 . 8 ha
もも	1 8 . 6 ha	西洋なし	1 0 . 5 ha

※栽培面積：JA越後中央越後獅子果樹部会生産登録面積(H24)より

表3 果樹産地の方向

－魅力ある果樹農業の確立－	
・産地の維持・発展	・ブランド力の強化と知名度向上
・安全安心の高品質安定生産	・果実の需要拡大

当管内のJA越後中央越後獅子果樹部会は、他産地同様に生産者の高齢化が進み担い手が不足する中、県内主要果樹産地にふさわしい「安全・安心、おいしい果実」の高品質安定生産を確保しながら、将来に向

けた果樹産地の維持・発展に取り組んでいる。

そのため、高品質安定生産の確保に当たり、毎年、生育作柄及び病虫害発生予察調査を実施し、その調査結果に基づき「くだもの情報」を作成し、情報を提供するとともに、適期防除・適正な栽培管理の指導等を実施している。

2. 生育調査及び病虫害発生予察調査の取組

調査は「日本なし」、「西洋なし「ル レクチエ」、「もも」、「ぶどう」4樹種6品種を対象とし、効率的に調査を行うため、2班体制で実施している。1班が中之口地区の一部と月潟地区、2班が中之口地区の一部と燕地区で、おおよそ5名ずつの計10名で対応している。

(1) 調査時期：毎年4月25日～10月まで（原則 毎月10日・25日に調査を実施する）

(2) 対象地域：JA越後中央越後獅子果樹部会（新潟市中之口地区、月潟地区、燕市）

(3) 対象樹種：4樹種6品種：日本なし「幸水」、「豊水」、「新高」、もも「白鳳」
西洋なし「ル レクチエ」、ぶどう「巨峰（無加温作型）」

(4) 調査内容

- ・ 生育調査は、「新潟県果樹生育作柄情報調査方法」に準じ、生育生態や新梢長、果実肥大、葉色、果実品質、肥培管理を調査する。
- ・ 病虫害発生予察調査は、「新潟県病虫害防除所及び、農業共済組合調査方法」に準じ、各樹種毎に主要病虫害の発生状況、予察を調査する。

表4 調査体制（関係機関・団体メンバー）

所 属	役 割 分 担
JA越後中央（本店、中之口営農センター、燕営農センター）	調査員、情報資料配付
新潟県農業共済組合連合会	調査員
新潟中央農業共済組合	調査員、病虫害調査責任
北陸農政局 新潟地域センター（統計実査担当）	調査員
新潟市西蒲区役所	調査員
新潟県病虫害防除所	調査員
三条農業普及指導センター	調査員
〇巻農業普及指導センター	【全体総括】 生育作柄、情報紙作成発行等

3. 果樹産地への情報提供・指導

2班体制で調査終了後に、【別記1】「調査・情報提供のフロー図」の手順に沿って、「くだもの情報」を作成し、関係機関団体に情報提供するとともに、果樹産地の生産者にはJAを通じてできるだけ速やかに情報提供する。

また、病虫害の発生状況や気象災害時に応じて必要により臨時情報（速報）を提供する。

表5 「くだもの情報」提供計画（例年）

号数	発行日	号数	発行日
1	4月中旬	7	7月下旬
2	5月中旬	8	8月中旬
3	5月下旬	9	8月下旬
4	6月中旬	10	9月中旬
5	6月下旬	11	10月上旬
6	7月中旬	12	11月上旬
※臨時	年数回	※気象災害対策等	

4. 今後の課題と取組

当管内では、今後とも既存果樹産地として高品質安定生産を確保しながら、維持・発展していくことが

課題である。

そのため、地域における基本的な生育作柄調査及び病虫害発生予察調査を定期的の実施しながら、生産者の栽培管理や病虫害防除に役立つ「くだもの情報」等を提供していきたいと考えている。また、近年は、突発的な強風や水害、雹・霰等の気象災害による被害が発生していることから、迅速な情報提供を心がけ、農作物の被害を最小限に抑えられるよう指導していきたいと考えている。

【別記1】

